

いちほまれ

いちほまれ栽培



【間断通水と一齐防除】

JA福井県

梅雨明けの発表がまだされていない中、以前として高温の日が続いており、今後もよりきめ細かな肥培管理および水管理が必要とされます。幼穂形成期以降は最も水が必要となるため、間断通水(飽水状態)を行いましょ。



1. JA生育調査状況(7月16日現在)

①JA全体

年度	栽培区分	平均移植日	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉色
R7	移植	5月18日	79.7	540.2	4.1
過去平均		5月17日	80.0	475.0	4.1

【平年比】

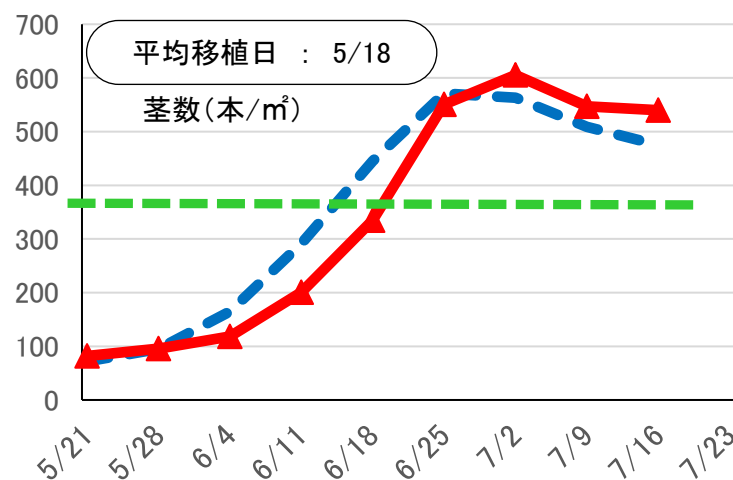
■草丈:平年並み ■茎数:多い ■葉色:平年並み

②各地区の状況

栽培区分	地区	平均移植日	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉色
移植	福井	5/18	83.4	580.5	4.1
	坂井	5/17	89.5	550.0	4.7
	奥越	5/15	75.4	481.0	4.0
	丹南	5/24	74.2	556.5	3.7
	嶺南	5/16	75.8	532.8	4.1

2. 茎数の推移について

— 過去平均 — R7



いちほまれの幼穂長

- 5/11(移植) 4.0mm
- 5/22(移植) 0.5mm



例年より気温が高く推移しているため、一発肥料の溶出が早まり圃場によっては葉色が薄い圃場が見られます。生育状況を確認し穂肥を検討しましょう。

※葉色4.0未満の場合は穂肥を検討しましょう。

【穂肥の目安】

新エコ追肥(N15-P5-K10): 7kg/10a

3. いちほまれの今後の管理について

水管理(間断通水)

水管理で一発肥料の効果を高める。幼穂形成期以降は水が必要なので間断通水(足跡に水が残る程度)を収穫直前まで実施しましょう。

『高温時の水管理』

- フェーン現象(高温・強風時)は、速やかに入水し、乾燥による稲の障害を防ぎましょう。

■ 間断通水(幼穂形成期～刈取5日前まで)

- 入水: 水位: 2～3cm程度
- 自然落水
- この水管理の繰り返し。

足跡や溝に水が残っている状態で再び入水。

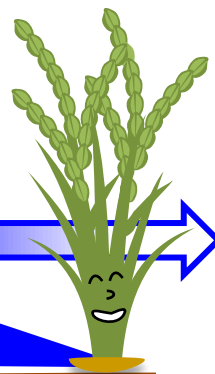
斑点米カメムシ防除

② 本田防除の徹底【防除薬剤】

- チームワーク粉剤DLなど
イモチ病・紋枯病・カメムシ類・ウカ類:
収穫21日前まで
- ダントツH粉剤DLなど
カメムシ類・ウカ類: 収穫7日前まで



- ① カメムシ類予防【畦畔の草刈り】
出穂までに実施する。



ブランド米「いちほまれ」のお問い合わせは、担当営農指導員までお願いします。